

# “火の国の未来を拓く” アマチュア文化の祭典

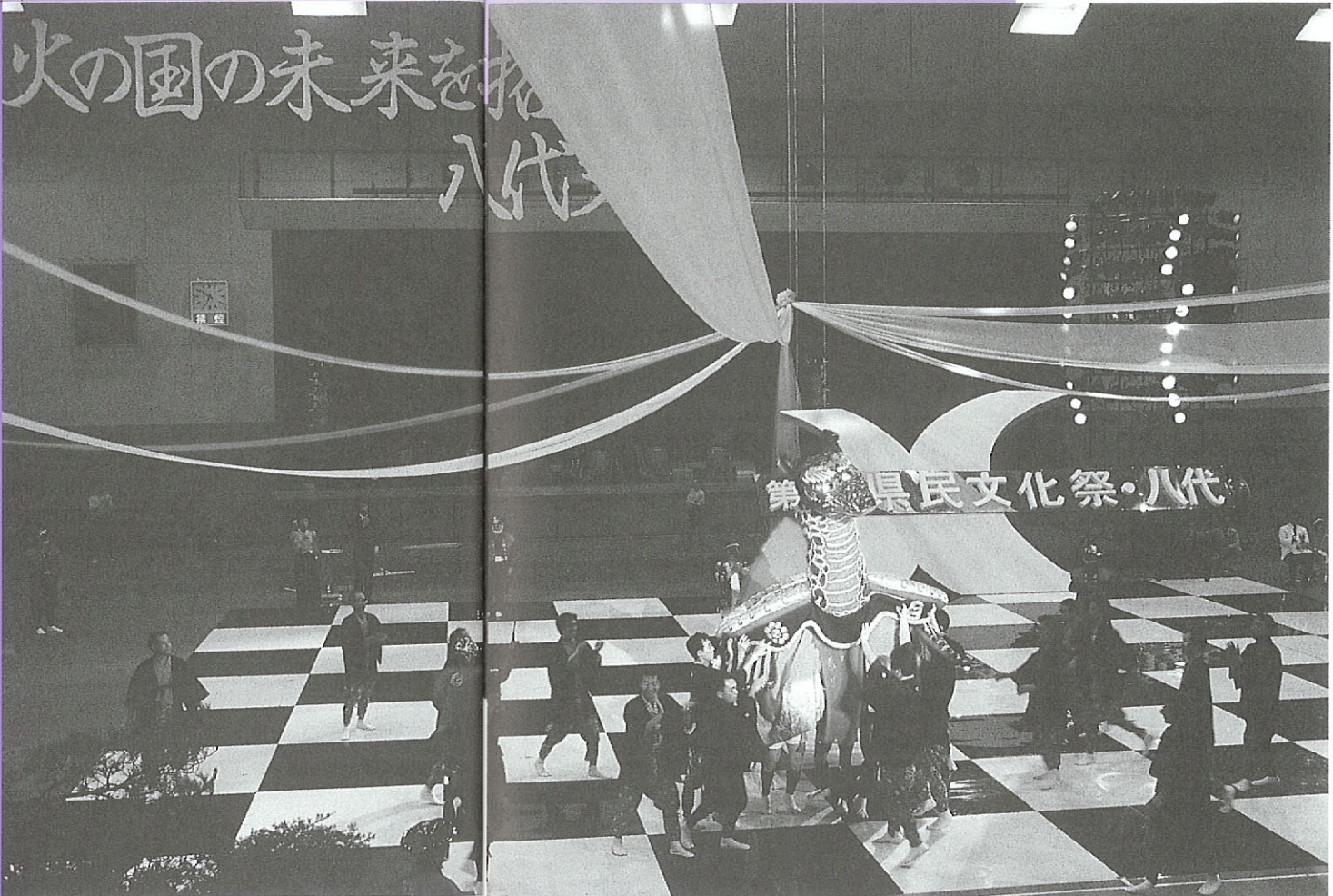
第二回県民文化祭・八代が10月23日から八代市で開かれました。県下各地からいろんな分野の人々が集まり行われた数々のイベント。ユニークなものあり、情熱溢れるものあり、ふるさとの文化を十分に楽しめた8日間でした。

八代薪能



▲タウンギャラリー

## 火の国の未来を拓く 八代



▲オープニングフェスティバル開会式

▲やつし秋の大茶会

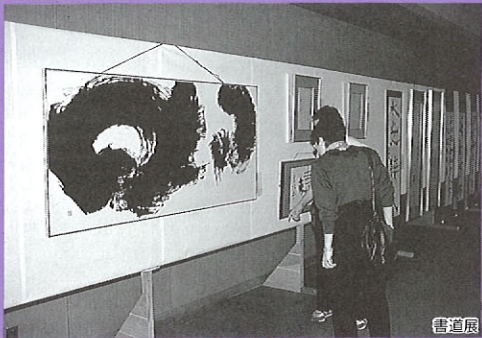


▲ランドフナーレ開会式

いま各地で、文化を中心としたまちづくりが進められておりますが、いま、本県が進めているまちづくりの目標は、旅人が、ある町へ一歩足を踏み入れたとたん「あっ、ここは美しい個性的な町だな」という感じを受けられるような、楽しい余韻につつまれて、またぜひ来てみたいと、そついつふつに思っ頂けるようなそんなまちづくりをしていくというところであります。

今や、精神的、文化的な豊かさがより強く求められる文化の時代が訪れ、それぞれの地域は、その土地の風土や歴史に根ざしたその土地ならではの文化を持つことが求められております。

県民文化祭は、そのような流れのなかで、ふるさとの文化をしっかりと見つ



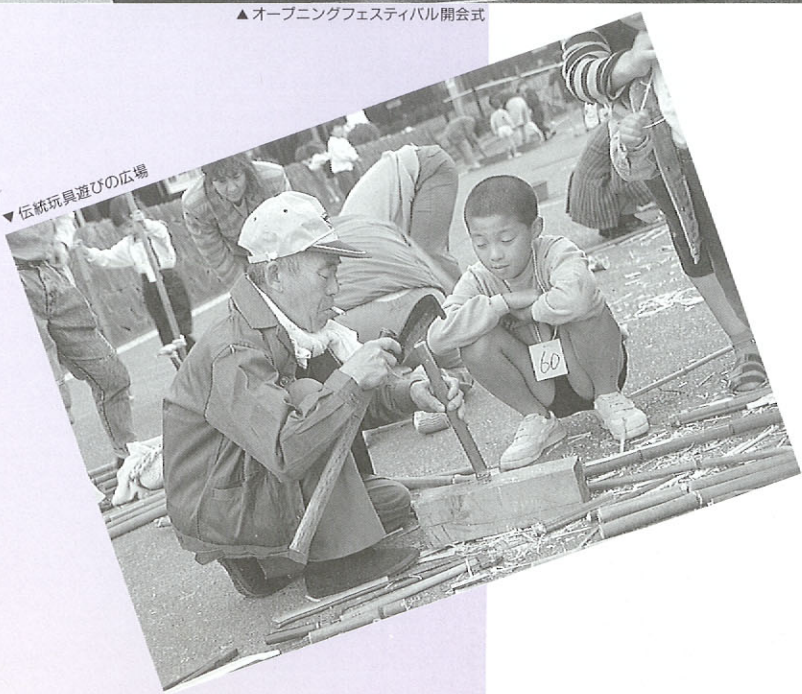
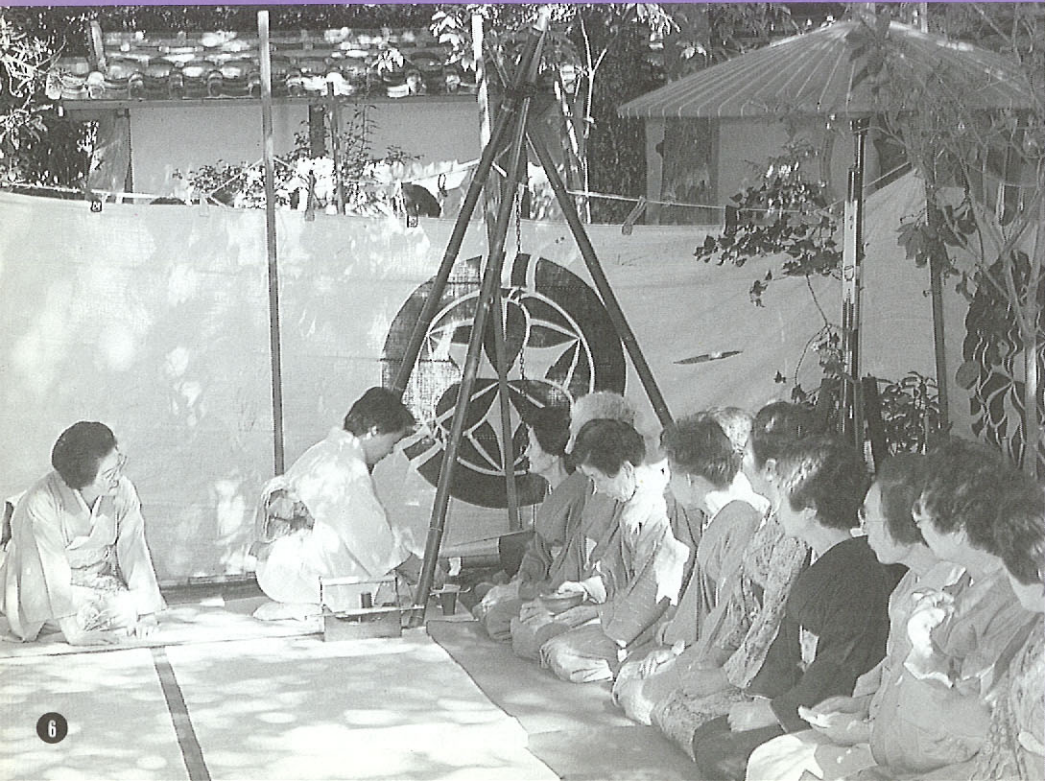
▲書道展

めなおすとともに、県下の優れた文化との交流によって、新しい地域文化を創造しようとするものであります。

この県民文化祭の第一回目が、ここ八代市で開催されるわけですが、改めて申すまでもなく、八代地方は、古くから妙見宮の門前町として、また、城下町として栄え、その間、妙見祭や能楽、茶道あるいは、彦一民話など、さまざま優れた文化を生み出してまいりました。

県民文化祭では、こうした伝統文化に加え、新しい試みも数多く披露され、また、県内各地から多くの出演、出展もなされますが、こうした文化の交流の中から八代にこれからの文化の花が咲くことになるのか、大変楽しみにいたしております。

「第二回県民文化祭・八代フレイベント」  
知事挨拶より



▼伝統玩具遊びの広場